

GML 2032 染谷和孝氏「be Blue Aoyama Studio」による ユーザーレビュー



・ GML 製品のメリット

GML製品は、品質の高さ、トランスペアレンシーな状態を極限まで追求した動作は言うまでもありませんが、特に GML のマイクプリアンプを通過しゲインアップされた入力信号は、思い描いたサウンドを隅々までこぼれ落とすことなく捉えられ、プロフェッショナルユーザーが共通に納得できる芸術的信号に生まれ変わるようにポテンシャルが引き上げられます。

それは DAW など、デジタル領域に変換された後も収録時のテンションが維持され、ファイナルミックス後も永遠に生き残るポリシーを持ったサウンドとして濁ることも、打ち消されることもない正確な表現として作品を支えます。

これらは GML2032, 2020, 8302MkII, 8304MkII などの全てのマイクプリアンプを搭載した製品に共通し、常に私たちの仕事に自信を持つ結果を提供してくれます。

・ GML2032のトピック

1 他機種とは大きく異なる SN の良さと透明感と存在感のある音色。

- ・特に小さな声や Foley を収録する時にこの SN の良さは大きなアドバンテージになります（これで私は助けられています）。
- ・マイクの持つポテンシャルをきちんと表現し、男女を問わず Na 収録やアニメ・ゲームのボイス収録に最適です。

2 とても感度が良く操作性に優れた EQ。

- ・2032 の EQ は位相ズレが非常に少ない、とても感度の良い EQ となっています。操作したい周波数にすぐに手が届き、エンジニアにとって非常に大きな助けになります。
- ・また Filter の機能にも優れており、ボイス+ Na 収録にとっても有効な 40Hz、100Hz が用意されています。

3 便利なインサート回路

- ・GML2032 にはインサート回路が用意されており、コンプやリミッターを併用することが可能です。現在ミキシングコンソールを使用せず、HUI コントローラーなどで作業をすることの多い MA スタジオ事情ですが、そのような場合に、このインサート回路は非常に便利です。

GML2032 は、単なる「HA」という域を超えた、非常に優れたアナログ入力モジュールとしての機能を兼ね備えています。

プロメディア・オーディオ(株) 片桐雅司
TEL:03-5397-7092 FAX:03-5397-7093